

横浜市戸塚区民文化センター さくらプラザ 情報誌

# SAKURA

Since 2013



Vol.13  
9・10月号

私は、「わたし」に会いにゆく。さくらプラザで、逢いましょう。



中西 俊博



彦坂 真一郎

## 「音」を探求しつづけた先にある音楽

### == INDEX ==

Pick Up Artist 中西 俊博 ／ 彦坂 真一郎

さくらプラザ自主事業レポート

第1回 弦楽アンサンブルオーディション  
受賞者による記念演奏会

さくらプラザオープンデー 2015 「真夏のこども探検隊」  
ゆかた見返り美人養成講座

### 連載

フランスの魅惑 -L'allure de la France- 安田 英主  
出張! THE LEAPS の行ったるチャン!  
サポートアーティストによるコンサートレビュー  
さくらプラザ User's Voice  
男は背中で物語る 戸塚見返親仁



# ヴァイオリニスト 中西 俊博

来年、CDデビュー30周年を迎えるヴァイオリニスト・中西俊博さん。

東京藝術大学在学中からスタジオやステージで活動を始め、クインシー・ジョーンズはじめ内外の様々なアーティストとの共演も多く、その活動はクラシックだけにとどまらずジャズやポップスなど多様なジャンルにまで及んでいます。従来のヴァイオリン奏法の常識を越えた、自由奔放なスタイルで楽器を操る奏者の原動力や次なる目標などについてお話を伺いました。

## —ヴァイオリンをはじめたきっかけは?

アマチュア演奏家だった父親から、3歳のころに「ヴァイオリンとピアノと、どっちがやりたい?」と聞かれ、「両方!」と答えたところからヴァイオリンとピアノをはじめました。好奇心の強さは人一倍だったようですね(笑)。

小学生ぐらいまでは父親からレッスンを受けていたのですが、それが普通のレッスンとは違い、曲はほとんどやらずに、指の関節を独立して動かすとかビブラートを3種類できるようにすると、楽器を握ったらすぐに構えて演奏できる状態にするとか……かなり変わったレッスンでしたね(笑)。

ついでに負けん気も相当なもので、はじめたころ、ヴァイオリンの練習でミスをするたびに、弓で自分の頭をたたいていたのですが、ある日、あまりに強くたたきすぎて弓が折れてしまい、しばらくは接着剤でくっつけて弾いていました。その後弓を折ったことが父親にバレて、「もうやめてしまえ!」としかられたのですが、反発して意地になって猛練習に励みましたね。

面白そうなものにはすぐに首を突っ込む好奇心と、やるからには徹底してやる負けん気の強さが僕の原動力となっているかもしれません。

## —印象に残っているコンサートは?

1989年のフランク・シナトラ日本公演ですね。



—みんなと同じことをやっていても、みんなと一緒になるだけ。  
だから、人一倍努力もするし、人と違ったこともする—

僕はコンサートマスターをしていたのですが、リハーサルの時にシナトラがステージに上がらずオーケストラピットにいる僕たちの傍に来て生声で歌ってくれたんですよ。それも僕のすぐ前で! まるで映画を見ているような感じで感激しましたね!

それと1981年のクインシー・ジョーンズ日本公演も忘れられません。

ハービー・ハンコックのピアノソロをヴァイオリンセクションがユニゾンで弾く(みんなで同じフレーズを弾く)という難しい譜面を渡され、みんなで練習したのですが、結局難しそうで弾けないから断ろうということになったのです。

その時僕はコンサートマスターではなかったので「え~、みんながんばろうよ!」と内心思ったのですが言えなかつたので、悔しくてその譜面

を家に持ち帰り猛練習

しました。

そしてコンサートマスターの後押しもあって、本番の日にクインシーに演奏を聴いてもらったら、「OK、今夜ソロでやろう!」ということになり、その夜の公演では僕がヴァイオリンソロで弾くことになりました。今でも大変貴重な経験だったと思います。



## —中西さんにとって音楽とは?

自分にとって、趣味でもあり仕事でもあり人生通してできるものかな。

終わらないといふか完成形がないといふか……。

いつも何か、ここが足りないと想い続けながら一生やり続けられるものですね。

もっと内面的な事で言えば、音楽って「音」なんですね。音が集まって結果的に音楽になる。

だから音の素材だけでも好きで、音が鳴ると音の「肌ざわり」「弾力性」「色合い」などを考えてしまいます。

アンサンブルを作る時に、楽譜上でこの音とこの音は、このコードの構成音は、と考えるよりも、こういう音色でこんな肌ざわりだからこういう肌ざわりのものと組み合わせようとか、この音が横に広がるから縦のものを組み合わせようとか、イメージの組合せパズルみたいなものがあって、それがバランスを取りすぎちゃうと安心感はあるけど緊張がなくなるので、どこか微妙なバランスをとりつつも崩してみたりすることで音楽を作っていくことがありますね。

メロディ・コード・リズムとかも、そういう音の感触とバランスを取ることによって形成していくものですかね。例えば、石と石がぶつかりあう音が何か他の音と重なってリズムになっていったり……。いい音色の音は単体でもすごい! メロディーがなくてもカヘンとなって「ああいい音だな」みたいな。もっと言うと、ドアが閉まる音でも「あ~この音、気持ちいい!」みたいなことがあって(笑)。

## —次なる目標は?

もっと自由に弾けるようになることですかね。イメージと音がもっと自由に表現できるように……。

音からイメージは自由に行けますが、イメージから音が思うように行かなくて(テクニックとかいろんなことがあって)、そこがフラストレーションにならないように練習してはいるんですが……。

脳ともっと直結できればと思っています。

音符を見て、それがどんな色で、どのくらいのスピードでとか言うイメージが出てくると、それがどのくらいの強さで、どんなアクセントや音色で出すのかというイメージにつながって音として伝わればいいんですが……。

でもなかなか難しいですね。雑念も入るし……。何か上手そうに弾きたいとか、上手に思ってもらいたいとか(笑)純粋にイメージを音にできるようになりますね。



## —今回の音楽講座について。

演奏を楽しんでもらいたいのはもちろん、僕は楽器の奏法の可能性を探ることも大好きなので、ヴァイオリンで出す音、そして「音」自体の可能性を知ってもらいたいですね。伝統ある楽器だけに奏法なども決まり事から離れてはいけないという風潮はありますが、この講座ではそれに関係なくヴァイオリンの音をどう楽しめるかを知っていただけたらと思います。

## —戸塚のお客様にひとこと。

今回、ピアノのKeikoさんといろいろなことを企んでおりますので、皆さまがビックリするようなこともご覧いただけるかと。

そしてお帰りになるころにはヴァイオリンに対するイメージがすっかり変わっていることだと思いますので、是非お越しになって、ご自分の目・耳など五感でお確かめください!

(取材・文:飯島 幹雄)



さくらプラザホームページにて、中西さんのコメント動画を公開中! ぜひご覧ください。



**中西 俊博**  
**Toshihiro Nakanishi**  
(ヴァイオリン)

東京藝術大学卒業後、クラシック、ジャズ、ポップスなど多様なジャンルを表現するヴァイオリン奏者として長きにわたりに日本の音楽界の第一線で活躍。 ジャズヴァイオリンの巨匠ステファン・グラッペリとの共演、フランク・シナトラ、ライザ・ミネリ、サニー・デービスJr.、クインシー・ジョーンズのコンサートでソリストやコンサートマスターを務める等、国内外の様々なアーティストとの共演も多い。また、楽曲制作、編曲も多く手がけ、桑田佳祐、井上陽水、坂本龍一などのアルバム制作をはじめ、数多くのアーティストの楽曲制作、編曲を担当。映像の世界での活躍も著しく、手がけたテレビ番組やCM音楽は150曲を超え、ヨーロッパで権威ある「LONDON国際広告賞2000」にて、TVオリジナルミュージック部門のファイナリストを受賞するなど国際的に高く評価されている。さらに、舞台音楽にも才能を發揮し、「アーラ・カルト」(青山円形劇場/1989~)、東京国際芸術祭2004音楽劇「ファウスト」(2004)等、数多くの舞台の音楽監督を担当。現在は、大きなプロジェクトと平行しながら、リーダーを務める「Reel's Trip」「Cool Groovin」「爆裂クインテット」など、自己のバンドの活動を精力的に行うと共に、ライブ活動も積極的に展開。ヴァオリンの枠を超えた表現を追求し続けており、エレキヴァイオリンや多弦ヴァイオリン、エフェクターなどを使いこなし、自ら楽器の制作も行っている。

■オフィシャル・ホームページ <http://couleur.bz/>



**Keiko(大崎慶子)**  
**Keiko Osaki**  
(ピアノ)

東京藝術大学作曲科卒業。4歳からピアノ、6歳から作曲を始め、中学2年生でYAMAHAエレクトーンコンクール全国1位、高校2年生で全国学芸科学コンクール作曲部門金賞を受賞。大学在学中よりユニット「Vanilla Mood」として、NHK「お昼ですよ! ふれあいホール」、日本テレビ「PON!」にレギュラー出演し、avexよりデビュー。今までに計4枚のCDをリリース。クラシックからジャズまで確かなテクニックと多彩な色彩感で音楽を操作する作曲家、アレンジャー、ピアニスト。

■オフィシャル・ホームページ <http://www.keicopiano.com>

「最初は楽譜を読むことが出来なかった」そこから音楽にのめり込んだのは「サックスが楽しかったから」と話す彦坂さん。笑いも交えた楽しい取材ではあったが、とても真剣な眼差しを見せたのは後進の指導に努めているお話を伺った時。サックスを通して幸せを感じた学生時代を経て、自らがトッププレイヤーとして活躍する今、どのような想いで指導をされているのかなど、たくさんのお話をしてくださいました。

#### —楽器を始めたきっかけは?

姉が中学校の吹奏楽部でトランペットをやっていて、僕も中学校に入ったら吹奏楽部に入ろうかなと思っていました。そうしたら、たまたま中学校の顧問の先生が東京音楽大学のサックス科卒業の先生だったんですよ。それでその先生がサックスを吹かれているのを聴いてサックスを吹きたくなり、それが生まれて初めて「音」で何かを感じた瞬間でした。ところが部員が28人くらいの規模の小さい学校だったので、テナーサックスが備品で1本置いてあるだけだったんです。それで僕に与えられる楽器はなかったんですけど、顧問の先生が「眞面目に練習する奴だとわかったら私の楽器を貸してあげるよ」と言ってくれました。それから1か月間くらい練習すると先生の使っていた楽器を貸してくれまして、その楽器を持ってみると苦労を全然感じないくらいしっかりきました。一週間で6曲くらい吹けるようになり楽しいと感じましたね。それまでは何をやってもだいたい三日坊主だったんですけどサックスは飽きないんですよ。それで、たぶんこれだなって思いました。楽譜も全然読めませんでしたし、小学生の頃なんて音楽の5段階評価は2とか3しかなかったんです。でもサックスは楽しいっていう想いしかなく、「もしかしたら楽譜も読めるようになるかもしれない!」と思って取り組んでいたらだんだん楽譜のしくみがわかるようになり、徐々に楽譜と実際の演奏とが結びついていきました。



#### —職業にしようと思ったきっかけは?

当時、家は経済的には裕福ではなかったし幸福な感じがあまりなかったんです。ちょうどそのころ中学校の顧問の先生がサクソフォンカルテットを組んでらっしゃって、そのカルテットの練習を聴きに行ったときにものすごく幸せな感じを受けたんですよね。自分が吹いていて幸せとかじゃなく、その先生方の演奏を聴いて「この中に幸せがあるんだ」と感じました。自分の家に帰ると辛いことばかりなんだけど、ここにいたらたぶん自分は幸せになれると思いました。楽器を吹いてると楽しいと思うばかりで辛いとは思わなかったので、中学2年生の頃には将来はサクソフォン吹きになろうと思っていました。

#### —学生へはどのような想いで指導されていらっしゃいますか?

楽器の演奏法の指導ってちょっと宗教っぽいんですよね。先生が「楽器の奏法や演奏とはこういうことである」って言いきっちゃうことが、すごく危険だなって思うんです。僕が指導をさせていただいている上野学園のサクソフォン科では、そんな風に言いきっちゃう先生はいません。

たとえば音楽の3要素（メロディー・ハーモニー・リズム）や曲の背景なんかを妄想して音楽とはこういうもんだって思いやすいんだけど、単に音による現象が起こるだけなんです。ただひとつの音を出すときにサクソフォンはこういう音を出すべきだなんていう話もあるわけがないんです。こんな音を出しなさいじゃなくて、これこれこういうふうにしたらこんな音が出るから、そういうふうにしてみたら何が起こる?って感じさせるのが先生なんですよ。残念ながらそういうことができる人はほとんどいないんですよ、音楽の世界っていうのは。原因ではなく結果のことをみんなしゃべりたがるんだけど、原因を作つてやらなきゃ結果が生まれるわけないでしょ。奏法はその原因にあたるわけで、この説明が明確でなければ良い先生ではないという事です。

しかもこれはサックスっていうモノでもない、ただの管だと思ってそれで何が起こるかいろいろなことを試してみた中のココを選ぶ!っていうことが出来ない限り、価値なんて本当は生まれない。

そういうことができるようになると、誰から何を言われても平気な人になるんですよ。良い悪いじゃなく、自分がこうしたいのでこうしていますっていう。そういうふうに育てるのが目的かなと思っています。もちろん音楽をするんだけど、迷つたり悩んだりしないようにすれば自分が幸せなので、幸せになってもらうことも目的というか。

あと、いわゆる藝大生みたいに技術的に問題がない人ばかりじゃなくて、単に音楽が好きで学びたいっていう人も多いですね。卒業後、一般的企業だったりこちら（さくらプラザ）のような会館でお世話になりました。そのときに役立つことを楽器を通して教えなきゃいけない。それが我々私立の音楽大学がやるべきことなんじゃないかなって思います。

#### —ソロとアンサンブル（室内楽）ではどちらが好きですか?

それはアンサンブルの方が好きですね！ 楽しいです。うちのカルテット（※トルヴェール・クワルテット）っていうのは変なので、本番ごとに同じ演奏はできないんです。仲間同士で「次はこうしてやろう」「この前はこういうふうにしたから今度は変えてやろう」とかお互いを騙したりして（笑）。若いころは完璧な演奏をしてやろうと思ってたんですけど、お互いに誰か間違えると嬉しくなっちゃって。不謹慎ですみません（笑）。

#### —カルテットではアルトサックスですよね。

基本的にソロの作品はアルトが多いので音楽大学ではアルトで受験するんですけど、テナーサックスやバリトンサックスでも運指はすべて同じなので全部吹けるんですよ。向き不向きっていうのはあるんですけど、基本的にはみんな学生時代に触れます。カルテットの授業もあるので。僕はよく学生の頃はソプラノが上手だって言われてたんですけど、須川さんとカルテット組むようになってから一切吹く機会がなくなっちゃいました（笑）。

#### —ピアニストの東井さんとの共演についてはいかがでしょうか?

東井さんのピアノの何が好きかっていうとオーケストラのようなサウンドがするところです。いわゆるピアニスティックっていうよりかはサウンドがドーンとくる感じで。もともと東井さんの旦那さんがバリトン歌手なので、その伴奏を弾くときは空気みたいなふわっとした音を出します。でも、僕と一緒に演奏してくださる時の東井さんはキラキラとしたドビュッシーのようなタイプではなく、力強いシーマンのようなタイプなんですね。学生のときからずっと東井さんに伴奏をしてもらっているのですが、旦那さん曰く「彦坂さんの伴奏をするときは生き生きしてます。」と（笑）。

#### —今回のプログラムについて一言お願いします。

今回はバラエティに富んでいて、なおかつ親しみやすい曲で構成してみました。

あと僕だけが演奏している曲がありまして、それが佐橋俊彦さん作曲の「このかけがえのない日々へ」。僕が自分の子ども達への想いを曲にしてもらいたいと思って作曲してもらいました。子供が生まれて、思春期の葛藤を経て大人になっていくって、未来へつなげていくっていうような4曲の組曲になっています。

#### —最後に戸塚のお客様に一言お願いします。

サクソフォンは誕生してからもうすぐ160年になるんですけど、その間にアメリカに渡ってジャズでもてはやされてジャズの発展に貢献し、そのあとクラシックに戻ってまいりました。そのクラシックの中で僕は一生懸命勉強してきました。

今回のさくらプラザでの演奏会ではそんなサクソフォンのいろいろな顔を楽しんでいただけたらなと思いバラエティに富んだ曲目を用意してまいりました。みなさんとともにとても楽しく温かいコンサートになればいいなと思っておりますので、是非お越しください。

（取材・文：石村里美）

\*トルヴェール・クワルテット…1987年の結成以来同じメンバーで活動している、日本を代表するサックス・ソリスト集団。メンバーは、須川展也（ソプラノ・サクソフォン）、彦坂真一郎（アルト・サクソフォン）、新井靖志（テノール・サクソフォン）、田中靖人（バリトン・サクソフォン）。2012年デビュー25周年を迎、10月に東京で2daysを開催し、共に完売御礼コンサートとなった。世界トップレベルのサクソフォン四重奏団として、今後のますますの活躍が期待されている。

さくらプラザホームページにて、彦坂さんのコメント動画を公開中！ ぜひご覧ください。



彦坂 真一郎 Shin-ichirou HIKOSAKA (サックス)

東京藝術大学大学院修了。安宅賞受賞。CBSソニー「ザ・ニューアーティスト・オーディション '88」においてFM東京賞、クリステイン・リード賞受賞。マイスター・ミュージックよりソロ・アルバム「バラード即興への軌跡…!」、「ダンス」、「エチュード」をリリースしており、99年6月に行われた東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C バッハからコンテンポラリーハー」では好評を博す。現在、上野学園大学で准教授を務めている。また「裏サックス」、「火星接近」のメンバーとしても活動している。最近のCDは、2008年にリリースされた新井靖志とのデュオによる「6つのカプリス～2本のサクソフォンのための作品集～」、2009年3月にリリースされたソロCD「明日の方へ」（共にマイスター・ミュージック）。

# 第1回 さくらプラザ 弦楽アンサンブルオーディション 受賞者による記念演奏会

2015年 6月 27日(土)開催

2月に行われた同オーディションで選出された精鋭5組によるガラコンサートが、さくらプラザホールにて開催されました。

会場のお客様の温かい拍手に包まれて若いパワー溢れる演奏会となりました!  
舞台袖で自分の出番を待っている時は皆さんやや緊張気味でしたが、いざ舞台に立つと何と堂々としているんでしょう!  
将来の大物ぶりの予感がしました。



ルナリア弦楽四重奏団  
・モーツアルト: ディヴェルティメント二長調第1楽章  
・ベートーヴェン: 弦楽四重奏第1番ヘ長調第1楽章  
・シューベルト: 弦楽四重奏第14番ニ短調「死と乙女」第1楽章



大澤 理菜子(ヴァイオリン)  
・サン=サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソOp.28  
・ショーソン: 詩曲Op.25  
伴奏: 横田 知佳(ピアノ)



早瀬綾香さん、樹神有紀さん出演!  
・ヴィエニヤフスキ: ファウストの主題による華麗なる幻想曲  
・サラサーテ: ツイゴイネルワイゼン  
伴奏: 秋元孝介(ピアノ)

好評  
発売中

2015年12月21日(月) ブランチコンサートVol.17 若き演奏家の室内楽～ベートーヴェンとシューベルトの名曲に挑む～ \* 詳細は裏表紙をご覧ください

好評  
発売中

2015年12月21日(月) ブランチコンサートVol.17 若き演奏家の室内楽～ベートーヴェンとシューベルトの名曲に挑む～ \* 詳細は裏表紙をご覧ください

さくらプラザ オープンデー 2015

# 真夏の こども探検隊

～ひみつの海賊島で集めよう5つのカギ!～



2015年 7月 25日(土)開催

オープンデーは今年で2回目を迎え、「さくらプラザが海賊島に変身!」というコンセプトで様々なイベントを開催しました。さくらプラザ島での出来事を振り返ってみましょう!



ルナリア弦楽四重奏団  
・モーツアルト: ディヴェルティメント二長調第1楽章  
・ベートーヴェン: 弦楽四重奏第1番ヘ長調第1楽章  
・シューベルト: 弦楽四重奏第14番ニ短調「死と乙女」第1楽章



大澤 理菜子(ヴァイオリン)  
・サン=サーンス: 序奏とロンド・カプリチオーソOp.28  
・ショーソン: 詩曲Op.25  
伴奏: 横田 知佳(ピアノ)



早瀬綾香さん、樹神有紀さん出演!  
・ヴィエニヤフスキ: ファウストの主題による華麗なる幻想曲  
・サラサーテ: ツイゴイネルワイゼン  
伴奏: 秋元孝介(ピアノ)

好評  
発売中

2015年12月21日(月) ブランチコンサートVol.17 若き演奏家の室内楽～ベートーヴェンとシューベルトの名曲に挑む～ \* 詳細は裏表紙をご覧ください

好評  
発売中

2015年12月21日(月) ブランチコンサートVol.17 若き演奏家の室内楽～ベートーヴェンとシューベルトの名曲に挑む～ \* 詳細は裏表紙をご覧ください

来場者  
119名



## 海賊島の秘密のらくがき

みんなそれぞれ別の絵を描いていたはずなのに、終わってみると壁全体で一枚の絵みたいになっているのが不思議でした!

来場者  
172名



## 人魚姫エレーナの口笛遊び

ディズニープリンセスメドレーなど、ワクワクする曲がたくさん!  
島に遊びに来た人魚姫エレーナの素敵な口笛をお届けしました。

来場者  
170名



## はぎー隊長と子ども打楽器隊のサンバパレード

はぎー隊長とオリジナルの打楽器を手づくり。そしてさくらプラザ島を出て陽気なリズムでパレードをしました!

参加者  
450名



島に隠された5つのカギを見つける宝探し☆ 宝箱を開ける合言葉は「まんまんちやあ!」でした!

来場者  
886名



## カンジヤマ・マイムの「おしゃべりなパントマイム」

今回のイベントで唯一の有料公演でしたが、午前・午後の回ともにソールドアウト!大人でも子供でも楽しめる内容だったと大好評でした!

来場者  
180名



变幻自在にバルーンを操るお笑い芸人けーすけのもとにたくさんの子どもたちがバルーンを求めて集まりました!

来場者  
約1000名



とつかアンダー・ザ・シー  
サメの赤ちゃんやカブトガニに触ったり、ビニールで魚を作るワークショップが大人気でした!

来場者  
137名



しらていーのオペラ紙芝居「伝説の船長アラン」  
全4回すべて満員御礼。オペラを感じられる内容で、途中に入れるピアノ演奏がすごかったとのお声もたくさんいただきました!

\* 来場者数は各回の合計となります。

イラストレーション 小川かなこ

7

# ゆかた見返り美人 養成講座

～日本舞踊の美しい  
立ち居振る舞いに近づく3時間～

2015年7月23日(木)開催

日本舞踊師範である講師が、美しく着  
くずれしにくい浴衣の着方を丁寧にレ  
クチャー。その模様をレポートします！

浴衣は持っているけれど、自分で着付けをするのは初めて……。  
そんな方たちが集まり、行われた今回の講座。最初は少し緊張気味のみなさんでしたが、真剣な眼差しで  
先生の説明を聴いている姿がとても印象的でした。

## ①浴衣のきれいな着方

先生に手取り足取り教えてもらう受講者のみなさん。  
鏡の前に並んで、先生の手をじっくり見ながら浴衣を着てい  
きますが、なかなか思うようになりません。  
苦戦しながらも、コツを教えてもらひながらなんとか着付け成  
功！すると「はい、では浴衣を脱いでもう一度着てみましょう！」と  
先生。  
もう一度手順を思い出しながら着てみますが、これまた思うよ  
うになりません。そばで見ていた我々スタッフも難しさを感じ  
ました。  
でも先生からは「帰ってからもう一度自分で着てみてください。  
そうしたらどこがどうなっているのか分かるから。分かってしま  
えば簡単！自分で着られるようになりますよ。」と。



## ②美しい立ち居振る舞い

さて、着付けのあとは浴衣を着たときの所作を学びます。  
歩き方はもちろんのこと、座り方や立ち方も普段とは気を付  
けるところが違います。  
どの所作も姿勢がポイント！姿勢を気を付けるだけで見違え  
るほど綺麗な立ち居振る舞いが見られるようになりました。  
繰り返し先生のチェックを受けながら学ぶみなさん。  
体に覚えさせることも大事なんですね！



先生の横に並んだ自分の姿を鏡でじっと見ています……。

## アシスタントの先生方の見返り姿



これぞ正しく「ゆかた見返り美人」。  
先生の素敵な見返りに生徒さんたちも見惚れています。

みなさんの素敵な浴衣姿を目になると我々スタッフも「やっぱり夏は浴衣を  
着たいなあ……。」と感じました。来年はチャレンジしてみます！  
さくらプラザでは今後もこのような魅力的な講座を予定していますのでお見  
逃しなく!!

## 先生からのコメント

最初は下がっていた目線も前を向き、背筋も伸びてい  
ました。見違えるほど素敵になりましたね。  
浴衣は洋服とはちがいます。心構えや所作などを気を  
付けていただくことで、とても綺麗に着られるもので  
す。こういう講座がきっかけとなり、若い方でも自分で  
浴衣を着てお出かけしてほしいと思います。

## 藤間 龍玉 (ふじま りゅうぎょく)

1960年より藤間小伊龍に師事。  
1976年、五世藤間勘右衛門(初代尾上辰之助)門弟と  
なり名取。  
1990年、師範取得  
横浜出身。龍盛会・龍玉組主宰。現在横浜と下北沢にて  
指導にあたる。



～日本舞踊の美しい  
立ち居振る舞いに近づく3時間～



第5回

出張♪THE  
LEAPSの行ったるチャン  
♪

MAYOU  
NANA-A

♪つかストリートライブへ行ったるチャン

連載5回目は8月2日に行われた「とつかストリートライブ サマフェス2015」の模様  
をドドーン！とお届けします！今回も張り切って行ったるチャン！

とつかストリートライブとは「とつか音楽の街づくり事業」の一環として戸塚駅東口  
及び西口ペデストリアンデッキ上広場で実施されているイベント。

我らTHE LEAPSはなんと東口会場のトップバッター！

サウンドチェック中にはなんとTHE LEAPSも大好きな戸塚の愛すべきマスコット、  
「ウナシー」も駆けつけてくれました。



開会宣言も終わり、いざ本番！

ウナシーも見守る中……THE LEAPSの  
ステージが始まりました！



今日はエレキギターとドラムセットという通常形態でのライブということで戦闘能力も

非常に高め。ふたりが生まれ育った戸塚の情景を歌った、本誌と同じタイトル曲♪  
SAKURA♪や、とってもビールが大好きで出来た歌 (THE LEAPSはよく戸塚駅前エリア  
で飲むのだ♪) HAPPY LIFE(ビール飲もうぜ！)♪

エモーショナルロック！♪Let's get together♪そして最後はおなじみ♪THE LEAPS♪と、  
最高を更新し続けるゴキゲンなロックンロール・パンクライブをお届けしました！



カホン



MM5のみなさん

イベント全体がさらに盛り上がる中、再び東口会場へ！

ライブを終えたばかりの「MM5」さんに突撃！バンド名の由来は「ママ5人」の  
頭文字から。なんと結成15周年！(すごい！)長くバンドを続けるコツを質問した  
ところ「お互いの意見を尊重し合う！」「お客様に感謝の気持ちを忘れない」事  
だそう！



小倉さちこさん

そして場所を移し西口会場へ！

ライター(竖琴)奏者の「小倉さちこ」さんライブを堪能！！

この日はかなりの猛暑でしたがライターの美しい旋律と小倉さんの歌声がまるで  
避暑地に来たような気持ちになるヒーリング効果……☆

ふたりもうっとりして聴き入ってしまいました。

小倉さんは戸塚在住33年！戸塚区のオススメスポットを訪ねたところ「浜なし  
がおいしいから、平戸の梨園とかで梨狩りとかいいかもね！」とのことでした！



ふたりが生まれ育った街、横浜市戸塚区。

大好きな地元でおもいっきり演奏して、新たな音楽にも触れて…取材を終える時には  
充実したとびきりの笑顔がひろがっていました。

秋には初のミニアルバムをリリースする事も決定し、ますます勢い付くTHE LEAPS！

さあ、次回はどこへ行ったるチャン？！

## THE LEAPS(ザ・リープス)

横浜市戸塚区出身。生まれも育ちも超ご近所な幼なじみ同士であるGt&Vo・MAYOU(ex.ローリータ18号)とDr&Vo・NANA-A

(ex.THE PINK☆PANDA)による2ピースロックバンド。

今秋、初のミニアルバムが発売決定！9/11には2ndワンマンライブを横浜クラブセンセーションにて開催。

# フランスの魅惑

-L'allure de la France-

Vol.4

## 『モネの睡蓮(前編)

～世界に誇る睡蓮美術館～

こんにちは、ピアニストの安田英主です。

9月に入り、個人的には芸術の秋をより濃く感じたい季節となりました。

そこで紹介したいのは、前編・後編の2回にわたりモネの『睡蓮』です。前編ではモネの『睡蓮』の宝庫と言ふべき美術館を訪ねてみましょう!

『睡蓮』と私の出会いは確か小学3、4年頃だったかと。

モネの『睡蓮』が掲載された絵本を目にし、美術館のミュージアムショップに飾ってあった『睡蓮』が全面に描写された傘を見て、モネの『睡蓮』の虜になりました。絵画実物を鑑賞したのはもう少し後の事ですけどね!(笑) 余談ですが、私は美術館を訪れるときでも異常な程まで『睡蓮』グッズを買いあさってしまう困った習性があります……。

今やモネの『睡蓮』の本家本元であるフランスに住んでいる身の私ですから、時間さえあれば何時でも鑑賞が出来る大変有難い環境です。

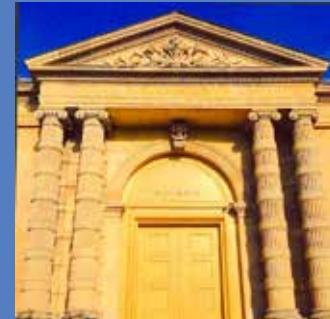


## ひでかず 安田 英主プロフィール

第6回クライネフ国際ピアノコンクール、グランプリ及びクラシック作品最優秀演奏賞受賞。18歳でパリ国立高等音楽院ピアノ科首席合格(ジャック・ルヴィエ氏師事)その後、国家資格のディプロマを得て修了。現在パリ在住。  
2013年5月3枚目となるCDを発売、タワーレコード渋谷店にてミニライヴ&サイン会を開催。2014年7月4枚目となるCDを発売、ヤマハ銀座店などで同イベントを開催。2015年9月23日、5枚目のCD「フランスで生きた作曲家たち」を発売。

2016年2月18日(木) ブランチコンサートVol.18 厳冬の先に～悲しきロシア～

\* 詳細は裏表紙をご覧ください



オランジュリー美術館

マルモッタン美術館



市原愛 ソプラノ・リサイタル  
2015年6月13日(土) 15:00開演

アンコール曲は、  
美智子皇后作詞・山本正美作曲：  
ねむの木の子守歌  
高野辰之作詞・岡野貞一作曲：  
故郷

終演後市原さんと一緒に

## さくらプラザ サポートアーティストによる コンサート・レビュー

未来を担う若い演奏家に、さくらプラザ  
主催の公演をレポートしてもらうコーナー  
です!

Vol.2

### 今回のレビュー

井上 祐吾(ヴァイオリン)

2014年5月、東京藝術大学  
1年のメンバーでルナーリア  
弦楽四重奏団を結成。

[初めて買ったCDは?] B'zのシングル  
[最近はまっていることは?] サボテン育て  
[好きなたべものは?] ナス



Q3 演奏家として参考になつたところは?

私は器楽を専攻していますが、器楽の基本も歌について学んでいました。いつも取り組む曲を、まず声で歌つてみます。表現のしかたを決めていくくらいです。そのため今は、間の取り方や曲の中での表情・雰囲気の変え方、細かい部分ではヴァイオリンのかけ方など多くのことを学ばせていただきました。

Q2 心に残つた曲とその理由は?

武満徹の「小さな空」です。日本語の歌曲は、メロディーに合わせて歌詞も心に入ります。いつも取り組む曲を、まず声で歌つてみて、自分の曲に対する想いなどを話して下さったおかげでどの曲もさらに親しみを持って聴くことができました。

Q1 本日のコンサートはいかがでしたか?

声楽のコンサートは初めて聴いたのですが、市原さんの力強くも透きとおった歌声は素晴らしいです。また今回の曲目はポピュラーなものが多く、市原さんが一曲一曲について解説し、ご自身の曲に対する想いなども話して下さったおかげでどの曲もさらに親しみを持って聴くことができました。

- Q. 戸塚のどんなところが好きですか?  
A. 人が温かいという所ですね。被災地支援活動を行っていると「また来ます。」という声を掛けられるのですが、普通の「また」は、その次の開催時という意味。

ところが戸塚の「また」は、「開催期間中にもう一度」の意味の方が圧倒的に多く、しかも友人知人同伴で来場してくれるのです。

- Q. 戸塚のおすすめスポットを教えてください。  
A. 第六天神社ですかね。御祭神が夫婦の神様なので、自分を成長させ恋愛成就のお願いを聞いてくれると。上矢部に2社、大坂台のところに1社。泉区ですが、下飯田の駅からすぐのところにも1社……。戸塚って恋愛パワースポットなんでしょうかね?



次号の親仁は…?

## さくらプラザ ユーザーズ・ヴォイス

## USER'S VOICE

Vol.3  
ホット&  
ハートフル

さくらプラザをご利用いただいた団体の方の  
声を毎号お届けするコーナーです。

### QUESTION

1. どんな活動をしている団体ですか?

24年前から戸塚区において「ホット&ハートフル」というクラシックコンサートを開催しています。近年はオリジナルストーリーによるオペレッタ形式のコンサートを開催し、2年連続で完売御礼となりました。

2. どなた方が参加をしていますか?

戸塚区役所主催「戸塚クラシックコンサート」の出演者有志により結成された「戸塚区演奏家協会」の会員が中心となっています。国内外のコンクールで上位入賞をした者も多く、首都圏で演奏活動を行っています。大学で後進の指導にあたっている者もいます。

3. 活動のモットーを教えてください。

お客様に楽しんでいただくことを第一に、クラシック音楽により「私たちの戸塚」を活性化すること目標としています。

4. さくらプラザを選んだ理由、おすすめポイントを教えてください。

①駅直結でアクセスが大変良い。②お手洗い、授乳室、車いすスペースなど設備が充実している。③音響環境に大変恵まれており、常設のピアノも素晴らしい。④いつも優しく親切に応対してくださるスタッフのみなさん。

9月5日のコンサートに向け、準備を進めています。主人公の柏尾川結子さんの思い出とともにクラシックの名曲をお楽しみいただけます。また、来年度は発足25周年記念のコンサートで新作オペラを上演します。戸塚区に伝わる「まさかりが淵」の物語にヒントを得ました。ご期待ください!



よしこ  
みきこ  
委員長:吉府 充希子さん

## 男は背中で物語る トツカミカエリオヤジ 戸塚見返親仁

其之  
十四

商店のご主人など、戸塚区内で働いている  
オヤジ世代をご紹介するコーナーです。

前号の後ろ姿は…

「戸塚パルソ」会長の栗田昭義です。  
戸塚にお越しの際は、ぜひ戸塚パルソ  
にお立ち寄りください!



戸塚パルソは、戸塚駅西口から徒歩1分のところにある「衣・食・住・遊・医」等様々なテナントが入った商業ゾーンです。コンセプトは周辺住民との「つながり」の創出で、気軽に「やあ」と声を掛けられる戸塚を大切にしたいそうです。

栗田会長と一緒に写っているのがパルソの看板キャラクター「パルちゃん」。

パルソを牽引する会長に一問一答させていただきました!



- Q. 栗田会長の趣味を教えてください。  
A. 旅行やドライブですね。  
Q. 座右の銘はなんですか?  
A. 「意識は行動を変え、行動は習慣を変える。習慣は人格を変え、人格は運命をも変える。」  
—ウイリアム・ジェームズ

- Q. 好きな音楽を教えてください。  
A. ホルストの組曲『惑星』ですね。  
Q. 今思い描いている夢はありますか?  
A. お金と時間さえ許せば、豪華客船で世界一周なんというのが夢ですね。

# さくらプラザコンサートスケジュール

隔月、金曜夜8時、ベートーヴェンのピアノの調べに酔いしれる。

## 若林 顯セルフプロデュース

### ベートーヴェンピアノ・ソナタ全32曲

各公演ともに全席指定 前売 2,000円・当日 1,500円

Vol.9 9/18(金)  
Vol.10 11/20(金)  
Vol.11 1/22(金)  
Vol.12 3/18(金)  
各公演 20:00開演



好評  
発売中

レクチャーコンサートを交えた約2時間の本格的音楽講座  
**「素晴らしい音楽、ヴァイオリン」**

11/1(日) 15:00

全席指定 一般 2,000円  
ペアチケット 3,500円

中西俊博(ヴァイオリン)  
Keiko(ピアノ)



好評  
発売中

小編成の弦楽合奏でヴィヴァルディの「四季」を中心にお届けします  
**前橋汀子と弦楽合奏  
四季 ヴィヴァルディ**

11/7(土) 15:00

全席指定 戸塚区民 3,000円/一般 3,500円  
前橋 汀子 (ヴァイオリン)  
森下 幸路 (1st ヴァイオリン) ほか



完売御礼

\*チケット抽選申込は6月30日で終了しました。

ファミリーコンサート 親子のための特別企画  
**上原 彩子と楽しむ「くるみ割り人形」**

12/12(土) 14:00 上原 彩子 (ピアノ・おはなし)

全席指定 一般 3,000円  
子ども 1,000円 (4歳～中学生)  
親子 2,500円 (一般1名+子ども1名)

Ticket さくらプラザ電話予約  
9/17(木)14:00～

\*窓口販売は翌日9:00から



まもなく  
発売

## 講座スケジュール

### エレナの口笛講座

土曜日 9/12・26、10/10・31、11/14

11:00～12:00

全5回 3,000円

会場:リハーサル室



まったく吹けない人にも、  
音の出し方や音程の取り  
方のコツを分かりやすく  
教えます。最終回は受講  
生による発表会あり。

### バリスタによる本格ラテアート講座

11/21 (土) 13:00～16:30

2,000円

会場:男女共同参画センター横浜  
(フォーラム) 2階生活工房



プロのバリスタだからこ  
そできる技をお教えしま  
す。ご家庭でできるアレンジコヒーレシピのデ  
モンストレーションも!

### 編集後記

芸術の秋……。さくらプラザでは様々な講座をご用意しております。  
お気に入りの講座は?(飯島)

夏の一大イベント「真夏のこども探検隊」が大盛況のうちに終了し  
ました! 詳しくはP.7掲載のレポートをご覧ください。(桑田)

チケットはお電話 (045-866-2501) でご予約いただけます。(一部除外あり)  
詳細はチラシをご覧ください。出演者・曲目などは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

鈴木 理恵子 室内楽シリーズ Vol.3

## 「ヴァイオリンとギターの調べ ～聖夜の室内楽～」

まもなく  
発売

12/19(土) 15:00

全席指定 一般 3,000円  
ペアチケット 5,000円

鈴木 理恵子(ヴァイオリン)  
莊村 清志(ギター)

Ticket

さくらプラザ電話予約  
9/24(木)14:00～

\*窓口販売は翌日9:00から



数ある名曲を実力派アーティストの演奏とともに楽しんでください

## 午後の名曲散歩 Vol.6

好評  
発売中

### 多彩な音色、 心にしみるサクソфон

9/16(水) 14:00

全席指定 2,000円

彦坂 真一郎(サクソfon)  
東井 美佳(ピアノ)



世界で活躍する若手アーティストが贈る…45分間の優雅なひととき。

## ランチコンサート

好評  
発売中

各公演ともに全席指定 1,000円

Vol.16～18 3公演セット券 2,500円

Vol.16 光と影が織りなす幻想とノスタルジー

10/29(木) 11:30 菊地 美涼(ピアノ)



Vol.17 若き演奏家の室内楽

12/21(月) 11:30 早瀬 綾香(ヴァイオリン)  
樹神 有紀(ヴィオラ)



Vol.18 厳冬の先に～悲恋のロシア～

2/18(木) 11:30 安田 英主(ピアノ)



## さくらプラザよりお知らせ

サークル・団体のメンバー募集ができる「交流掲示板」を館内に設置しました。  
掲載ご希望の方は、お気軽にさくらプラザ受付までお申し出ください。



戸塚区民文化センター さくらプラザ



TEL: 045-866-2501 FAX: 045-866-2502



〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町16-17

戸塚区総合庁舎 4F



<http://www.totsuka.hall-info.jp>



[event@totsuka.hall-info.jp](mailto:event@totsuka.hall-info.jp)



Vol.13

9・10月号

2015.9.1発行